

[参考事項]

新技術名： オウトウ「紅ゆたか」の果実特性（平成24～29年）

研究機関名 果樹試験場 品種開発部・天王分場班
担当者 高橋 功・照井 真

[要約]

山形県で育成されたオウトウ「紅ゆたか」は、「佐藤錦」と交雑和合性を有する早生種で、本県では「佐藤錦」より7日程度早い6月中旬に収穫できる。果実は8～10gと大きく、糖度は20%前後、酸味があり食味に優れるが、果頂部裂果がみられる。

[普及対象範囲]

県内オウトウ生産者及び新規生産者

[ねらい]

本県オウトウの主要品種である「佐藤錦」は中生種で、受粉樹には「佐藤錦」と収穫期が重ならない早生種の「香夏錦」、晩生種の「紅秀峰」や「ナポレオン」などが利用されている。しかし、「香夏錦」や「ナポレオン」は収益性が低く、「紅秀峰」は収益性は高いが栽培が難しい。このため、「佐藤錦」の受粉樹として利用でき、収益性が高く、栽培が容易な品種を探索する。

[技術の内容・特徴]

- 1 「紅ゆたか」の開花期は「香夏錦」とほぼ同じで、「佐藤錦」より1～2日早い（表1、表2）。
- 2 「紅ゆたか」は自家不和合性に関与する遺伝子型（S遺伝子型）がS3S6で、「佐藤錦（S1S6）」と交雑和合性が有る。
- 3 「紅ゆたか」の果実は果重が8～10g、糖度が20%前後、酸度は調査年によるばらつきがあるが、食味は非常に良い（図1、表3、表4）。
- 4 「紅ゆたか」の果頂部裂果は、結実が始まった平成27年（4年生樹）から毎年みられ、平成29年の調査では商品性がない、または著しく低いと思われる果実（図2の小と大）の割合は27%と高い。

[成果の活用上の留意点]

- 1 果頂部裂果の発生がみられるので、導入前に自園地における活用方法をよく検討する。
- 2 「佐藤錦」より成熟期が早いので、雨よけビニールの被覆は早めに行う。

[具体的なデータ等]

表1 「紅ゆたか」5年生樹の開花期（平成28年）

品種名	開花始	満開	落花
紅ゆたか	4月22日	4月25日	4月30日
香夏錦	4月21日	4月24日	4月30日
佐藤錦	4月22日	4月26日	5月11日

表2 「紅ゆたか」6年生樹の開花期（平成29年）

品種名	開花始	満開日	落花日
紅ゆたか	4月25日	4月30日	5月8日
香夏錦	4月25日	4月30日	5月7日
佐藤錦	4月27日	5月1日	5月16日

表3 「紅ゆたか」5年生樹の果実品質（平成28年）

品種名	収穫日	果重 (g)	果実径(mm)			糖度 (brix%)	酸度 (g/100ml)
			タテ	ヨコ	ソク		
紅ゆたか	6月10日(始期)	10.1	22.8	28.6	23.2	22.3	0.86
	6月17日(盛期)	9.9	22.7	28.1	23.5	20.9	0.84
佐藤錦	6月17日(始期)	7.9	22.7	24.5	21.9	18.1	0.69
	6月23日(盛期)	8.5	23.2	25.2	22.2	19.2	0.74

表4 「紅ゆたか」6年生樹の果実品質（平成29年）

品種名	収穫日	果重 (g)	果実径(mm)			着色 (%)	糖度 (brix%)	酸度 (g/100ml)
			タテ	ヨコ	ソク			
紅ゆたか	6月12日(始期)	6.2	20.2	24.4	20.1	83	17.6	0.446
	6月16日(盛期)	7.8	21.3	25.7	21.4	78	19.3	0.423
	6月19日(終期)	7.8	21.5	25.4	21.0	86	21.7	0.470
香夏錦	6月16日(盛期)	5.4	19.6	21.9	19.1	75	15.5	0.662
佐藤錦	6月20日(始期)	6.7	21.0	23.1	20.7	77	18.5	0.532
	6月26日(盛期)	7.6	22.3	24.7	22.1	81	18.8	0.641



図1 「紅ゆたか」と「香夏錦」の比較

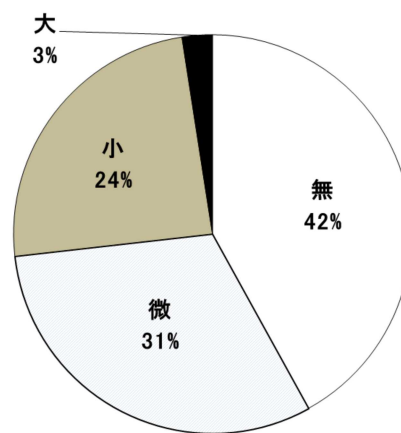


図2 「紅ゆたか」果頂部裂果の程度別発生割合（調査果数:448、平成29年）

無: 裂果がない
 微: 2mm以下の乾いた亀裂があり、商品性がやや低い
 小: 3mm以上の明らかな亀裂があり、商品性が著しく低い
 大: 10mm以上の裂開で糸状菌がみられるなど商品性がない

[発表論文等]

なし